おかえり!

【巻頭特集】3年ぶりに開催決定!

桑名水郷花火大会、桑名石取祭

桑名の夏の風物詩

7月下旬の桑名水郷花火大会、翌週に控える桑名石取祭。桑名市民にとって、夏の風物詩だったイベントはコロナ禍による中止、規模の縮小を余儀なくされてきました。「花火で桑名を盛り上げたい」、「祭を次世代に継承したい」、さまざまな思いから今夏、3年ぶりの開催が決まりました。

風物詩❶

桑名水郷花火大会

市民の皆さんの声が大きな後押しに

1934(昭和9)年、伊勢大橋の完成を記念して始まった桑名水郷花火大会。太平洋戦争による中断はあったものの、これまで毎夏、開催されてきました。「水郷のまち」らしく揖斐川河畔で花火を打ち上げるのが特徴。複数の2尺玉の打ち上げなどで観客を魅了してきました。

ここ2年間、桑名市と桑名市観光協会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、開催を断念してきました。しかし、政府の社会活動の制限緩和や、市民の皆さんの花火大会を待ち望んでいる声を受けて、3年ぶりに開催することとなりました。

大会構成も従来と異なり、全体を3部に分けて花火の構成・演出を考えます。

期待を寄せたい新しい形の花火大会

「花火には厄除けの願いが込められています。桑名を少しでも元気にできたら」と桑名市観光協会。花火の構成を3部に分けたり、全体的な打ち上げ数は減らしたりするなど、コロナ対策として開催時間を短縮しますが、「1時間でも、素敵な夏の思い出になれば」と意気込みを見せます。他にも対策として、観覧スタイルも変化し、観客の混雑を避けるため、今年は5000人分の有料席を販売し、無料席は設けず、チケット購入者のみが来場できるようにしました。

入場制限をした分、自宅などでも花火を楽しめるようにと、オンラインでの大会生配信を実施し、「多くの人に楽しんでほしい」と観光協会も期待します。

3年ぶりに帰ってくる桑名の夏の風物詩を、感じてください。

2尺玉の連発打ち上げの様子

information
桑名水郷花火大会
[開催日]
7月30日(土)
[時間]
19時30分～20時25分
※雨天中止時は、翌31日(日)に順延
※小雨決行

詳細はWebで確認ください

各町の祭車は彫刻、塗装、飾金具がいずれも異なります。必要であれば修復を施して、大切に引き継いできました

風物詩❷

桑名石取祭

地域が一体となって祭りの伝統を次世代へ

桑名石取祭は神事こそコロナ禍でも実施してきましたが、最大の見せ場であり神社への奉納の意味を込めた祭車の引き回しを2年間、自粛。桑名水郷花火大会同様に今夏、祭車の引き回しを3年ぶりに行う予定です。

「3年間は本当に長かった」と、桑名石取祭保存会の皆さんは口をそろえます。例年であれば約40台の祭車が参加しますが、今年は27台のみの参加。参加する町ごとに6日間、鉦鼓練習などを通して、地区の絆を深めることも祭りが果たしてきた役割です。

しかし、少子高齢化が進み、祭りに参加できなくなってきている町が年々増加。加えて、コロナ禍で祭りそのものを開催できないこともあり、保存会は危機感を募らせていました。「国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に認定されている祭りは、私たちにとって誇り。次世代に継承するためにも、地域が一体になり祭りを途絶えさせてはいけない」。こうした思いの中、保存会は今春、3年ぶりに祭りの開催を決定しました。

information
桑名石取祭
[開催日]
8月6日(土)・7日(日)

詳細はWebで確認ください

コロナ対策を万全に!安全に自宅でも楽しめます。

保存会では、今年の桑名石取祭は、コロナ対策を徹底して行うため、祭車の引き回しの全体運行時間を短縮することを決めました。また、密を避けるため、一般の方には、観覧の際にはできるだけ混雑を避け、比較的人手の少ない時間帯を選んでいただくようお願いします。祭りの参加者には、ワクチン接種済みであること、またはPCR検査か抗原検査で陰性であることを事前に確認することとしています。また、道路上での飲酒も禁止しています。「大きな声が飛び交うこともなく、これまでとは違った雰囲気となることは間違いありません。また、コロナが終息した際には、今までのように見学に来てもらえたら」と保存会の皆さん。

桑名石取祭は、オンラインによる放送を今年も実施。ぜひ、世界に誇る地元の祭りを自宅で見物しませんか。

「感染症対策を最大限に徹底して、令和の時代にもバトンをつなげたいです」と、桑名石取祭保存会の伊藤文郎会長

文/南部武寛　写真提供/桑名市観光課・桑名石取祭保存会　デザイン/chica